

5市市長が語る地域自治体連携シンポジウム
環境と共生する持続可能なまちづくり

平成25年11月3日(日)

調布市長 長友 貴樹

みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布
～調布市の紹介～

調布市の概要

昭和30(1955)年4月市政施行
人口 : 22万4千人
面積 : 21.53km²

江戸時代は、甲州街道の宿場(布田5宿)として栄えました。
100年前(大正2(1913)年)の京王線の開通は、まちの発展の原動力となりました。



都心に近く交通至便な利便性の高さと、多摩川、深大寺地域等に代表される水と緑といった豊かな自然に恵まれたまちです。

魅力ある資源をまちづくりに活かす
～調布市は魅力的な資源の宝庫～

- ・映画のまち調布
撮影所等多くの映画・映像関連事業所、キンダー・フィルム・フェスティバル
- ・ゲゲゲの女房の舞台
名譽市民 水木しげる先生
- ・武蔵野の原風景
深大寺、深大寺そば、神代植物公園
- ・FC東京の本拠地
市を挙げて市民とともに応援
- ・豊かな芸術・文化を感じる仙川地域
安藤ストリート、せんがわ劇場、武者小路実篤記念館
- ・多彩な学術・研究機関
電気通信大学、桐朋学園、JAXA
- ・最大の資源は市民力の高さ
新総合計画の31施策それぞれに参加と協働の視点を明記しまちづくりに取り組む



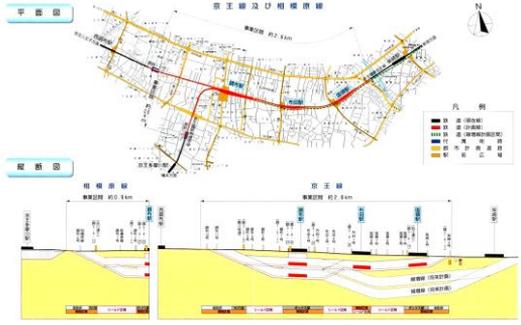
調布市のまちづくり
～新たな総合計画における4つの重点プロジェクト～

- 1 強いまちをつくるプロジェクト
・地域の防災力を高める ・強い都市基盤をつくる
- 2 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト
・高齢者の暮らしを支える ・障害者の暮らしを支える
・子どもたちの健やかな成長を支える
- 3 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト
・21世紀の調布のまちの骨格をつくる ・まちの活力を高める
- 4 うるおいのあるまちをつくるプロジェクト
・豊かな水と緑を大切に守り生かす ・良好な景観を創出する



※ 下線付きが本日のテーマ「環境と共生する持続可能なまちづくり」に関連

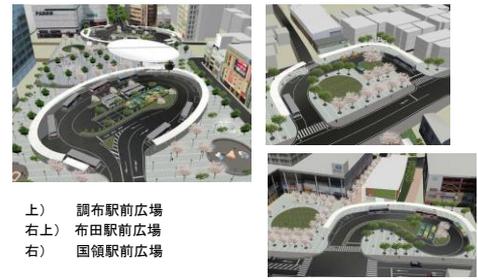
京王線連続立体交差化事業
～21世紀の調布のまちの骨格をつくる～



駅前広場の整備

～21世紀の調布のまちの骨格をつくる～

駅前広場整備のイメージ図



上) 調布駅前広場
右上) 布田駅前広場
右) 国領駅前広場

中心市街地のまちづくり ～21世紀の調布のまちの骨格をつくる～

今後の中心市街地のまちづくりの進展

- ・都市計画道路、生活道路等の整備
- ・市街地再開発、区画整理事業
- ・鉄道跡地の活用
- ・京王電鉄株による複合商業施設の開発 など

7

地域の防災力を高める ～防災教育の日～

4月第4土曜日を防災教育の日と定め市内小中学校で様々な取組を実施

- ・学校震災時対応シミュレーション
- ・「命」に関する授業を実施し、保護者や地域へ公開
- ・保護者・地域対象への防災に関する講話・講演会等
- ・避難訓練、保護者引き渡し訓練、避難所開設訓練
- ・地域との連携による避難所運営訓練等

8

待機児童対策の推進 ～子どもたちの健やかな成長を支える～

平成24年度に過去最大となる待機児童対策を実施 計 469人の定員増

- ・認可保育園 5園(4月開設4園、7月開設1園)
- ・グループ型保育所 2か所
- ・既存園1園の改築定員増
- ・既存園1園の定員変更増

しかしながら、待機児童数は・・・
平成24年度当初 180人 ⇒ 平成25年度当初 208人
要因を分析し、今後の新たな取組を検討

9

スポーツ祭東京から東京オリンピックへ ～まちの活力を高める～

多摩地域のスポーツの核となる施設の整備が進展 味の素スタジアム(スポーツ祭東京2013のメイン会場)

武蔵野の森総合スポーツ施設
平成28年秋までに東京都が整備予定

2020年東京オリンピック
調布市での開催競技(予定)
近代5種(フェンシング・水泳・馬術・ランニング・射撃)
サッカー・自転車競技(ロードレース・ゴール)

10

環境と共生する持続可能なまちづくり ～調布のまちの魅力・特色～

平成24年度市民意識調査結果における調布のまちの魅力や個性・特色

魅力や個性・特色	割合
豊かな自然がある	57.3%
安全で安心して暮らせる	51.3%
深大寺と深大寺そば	43.6%
歴史や伝統を感じた	22.7%
好きな店や商店街がある	10.3%
祭りやイベントが楽しい	6.8%
映画のまち	5.6%
スポーツ施設が充実	5.4%
文化施設・学術機関が充実	5.1%
地域のふれあいがある	4.5%
その他	3.7%
特がない	1.4%
無回答	1.5%

(平成24年度市民意識調査より)

左) 野川
右) 多摩川

(調布市景観基本計画より)

11

深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用

崖線、谷戸、里山

- ▲ 水田や畑が残り、農家が買われている。
- ▼ 地域に湧く用水と橋
- ▲ 崖線(ハケ)の谷戸から広がる里山の風景

【対食前職: 救2.8.5ha】
※調布市のほぼ中央、野川の北側(深大寺南町、佐須町)に位置する。

12

深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用

【保全への課題】
 ・対象地内にある農業の営農支援
 ・農地の水縁性確保

歴史・文化・景観の観点から保全

第1段階：農業の継続

営農支援による農業・農地保全
 ・都庁助金の活用～農業・農地を活かしたまちづくり事業
 ・農地の転貸による農業継続

第2段階：農業から農地の多面的活用へ～土地の活用

相続等による生産性低下の発生
 ・一部農業利用から多面的活用へ
 ・種じた基金による買取り
 ・条件による農地の取得
 ・新たな制度による農業の維持保全

第3段階：土地の多面的活用～空間の保全

多面的活用による空間保全
 ・高度防災機能
 ・防災機能
 ・教育機能
 ・環境保全機能
 ・景観形成・歴史文化伝承機能

崖線などの豊かな緑を守る ～地域制緑地制度の活用～

特別緑地保全地区の指定

「みんなの森地区」
 「仙川崖線緑地地区」

水と緑による快適空間づくり ～市民との協働による崖線樹林地の管理～

5つの市民団体が園分寺崖線等において保全活動を実施

「凸凹森の会」
 「カニ山の会」
 「若葉の森3-1会」
 「若葉緑地の会」
 「人間・樹林の会」

第48回東京都公園協会賞において、市民参加による緑木林の再生活動が奨励賞（ボランティア活動部門）を受賞

水と緑による快適空間づくり ～多摩川など水辺の自然環境を活かし、守るための活動～

調布市多摩川自然情報館

平成21年設置
 ○多摩川を中心とした自然環境に関する情報を発信
 ○環境に関する市民活動の活性化・人材育成・環境学習の推進

多摩川クリーン作戦
 調布水辺の祭典
 美化活動や環境学習事業等により水辺環境を保全・活用

調布子どもエコクラブ
 野川クリーン作戦

環境について学べる展示 いきものプール

公共施設の屋根貸し太陽光発電

公共施設 ← 市長部局 教育委員会

対象施設 36施設(申込は別途検討)
 市営住宅 公民館 児童館 ...など
 ※固定価格買取制度も活用

再生可能エネルギーの普及・促進
 地球温暖化対策
 公共施設の有効活用
 エネルギーの地産地消
 市域及び市への利益還元

目的 → 財源 → 大資金を確保

すべての事業実施者負担
 環境に資する取組への利益還元
 事業の持続
 設置施設への民間の協力供給
 市民参加の仕組みづくりが条件

事業者の選考 ...公募式プロポーザル方式
 プロポーザル審査(10月) → 候補事業者決定 → 事業に係る協定締結 → 平成26年度太陽光発電施設

調布市環境マネジメントシステム

調布市地域環境化対策実行計画 ← 区域施策 事務事業 → 調布市環境マネジメントシステム → 調布市環境基本計画

各施策の目的達成の手帳

平成12年 ISO14001認証 (運用開始は水庁舎・グリーンセンター) → 平成21年 水庁舎を運用開始として自己適合方式へ移行 → 平成21年 水庁舎以外の公共施設について調布市環境マネジメントシステム導入 → 平成24年 新たな環境マネジメントシステム導入

平成24年度 自己適合宣言以降
 ⇒ 第三者機関による監査に代わる取組が必要

近隣4市(昭島市・府中市・日野市・調布市)連携による相互監査の試行

都市型洪水対策と地下水の涵養

～都市型洪水は流域全体で取組む課題～

区分	管理者	降雨量50mm/hの対応	降雨量50mm/h超の対応
行政	河川	河川整備、分水路整備	遊水地整備など
	下水道	下水道整備	雨水浸透施設の設置など
	道路		浸透性舗装
市民			個人住宅への浸透ます等の設置

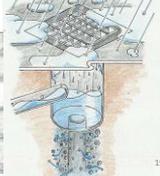
入間川分水路 取水口



放流口



雨水浸透施設イメージ図

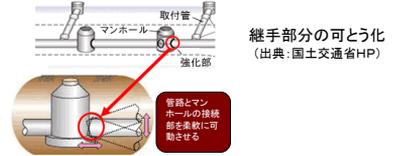


19

下水道施設の地震対策と長寿命化

- 地震対策について、災害対策本部、病院及び避難所からの排水を受ける小口径管路について、マンホールと下水道管との継手部分を柔軟な構造とする可とう化を実施
→ 平成30年度までに319箇所の工事を予定

- 今後、中大口径管路の継手部分の可とう化を検討



- 長寿命化については、平成27年度から改築・更新に着手

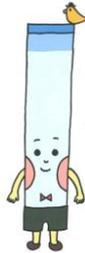
新ごみ処理施設「クリーンプラザふじみ」

(愛称) 三調めのエントツくん



施設の概要

- 運営 富士み衛生組合 (親成市：調布市、三鷹市)
- 稼働開始 平成25年4月
- 処理能力 288 t/日 (144 t/日×2P)
- 建物高さ 28m (地上5層、地下1層)
- 煙突高さ 100m
- 発電設備 9,700 kW (最大)
- 併設施設 リサイクルセンター (不燃ごみ・資源物処理施設)



施設の特長

計画の段階から
市民参加による整備

燃えて出るガスをきれいにする
・新しい自主規制値の設定、モニタリング

周辺環境に配慮した運営
・地元協議会
・安全衛生専門委員会

臭いが外にもれないようにする
・屋内に計量器を設置
・臭突の設置

発電した熱を有効に利用
・自己消費のほか余った電力は売電

21

調布市のごみ量・リサイクル率

リサイクル率は8年連続で全国トップ3

環境省発表全国ランキング(人口10万人以上50万人未満)

